

研究機関：広島大学

研究課題名	脊髄動静脈奇形に対する脊髄血管撮影を使用した 病態評価方法の確立と術後転帰予測因子の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科 教授 堀江 信貴
研究期間	2022年9月26日(倫理委員会承認後)～2032年3月31日
対象者	2000年1月から2030年1月の間に、広島大学病院脳神経外科で脊髄動静脈奇形に対して外科的加療を受けられた患者さん。
意義・目的	脊髄動静脈奇形は稀な疾患であり、診断や、治療に苦慮する疾患です。また、脊髄血管撮影による診断、病態評価や、術中評価の有効性が報告されていますが、穿刺血管（膝窩動脈/大腿動脈）の選択や、使用カテーテルの選択、血管撮影画像と他の検査所見（MRI、CT、超音波検査）との関係など、病態の診断/評価の方法は確立されていません。さらに、術後長期間にわたる成績や、術後転帰を予測する因子は明らかではありません。 本研究では脊髄血管撮影の評価を組み合わせた疾患の病態評価方法の体系を確立脊髄動静脈奇形に脊髄血管撮影の手技を確立させ、各検査結果と長期的な転帰との関係を明らかとすることが目的です。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、画像所見、病理所見です（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科 教授 堀江 信貴
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5227 広島大学医系科学研究科脳神経外科 医科診療医 前田 雄洋